

## 令和8年度技術士第二次試験問題【建設部門】

### 9 建設部門【必須科目Ⅰ】

Ⅰ 次の2問題（Ⅰ－1,Ⅰ－2）のうち1問題を選び回答せよ。（解答問題番号を明記し、答案用紙3枚を用いてまとめよ。）

Ⅰ－1 我が国では、気候変動の進行に伴い、豪雨・洪水・土砂災害・高潮・地震などの自然災害が激甚化・頻発化している。近年は、複数の災害が連続的または同時に発生し、社会経済活動に深刻な影響を及ぼす複合災害（マルチハザード）が顕在化している。令和7年の台風豪雨では、河川氾濫と土砂災害に加え、広域停電や道路寸断が連鎖的に発生し、物流停滞や医療機関の機能低下など、社会基盤の相互依存性の高さが改めて浮き彫りとなった。

第6次社会資本整備重点計画では、「災害の激甚化・頻発化への総合的対応」を最重要課題として位置づけ、流域治水の推進、広域道路ネットワークの強靱化、物流のレジリエンス確保、デジタル技術を活用した災害対応力の向上など、マルチハザードを前提とした国土づくりが強調されている。しかし、地方公共団体では技術系職員の減少や財政制約が深刻化しており、複合災害に対応するための体制整備やデータ連携が十分に進んでいないとの指摘もある。

こうした状況を踏まえ、複合災害に対して社会資本の信頼性・安全性を確保しつつ、国民生活と社会経済活動の継続性を高めることが求められている。技術者としての立場から、以下の問いに答えよ。

- (1) 複合災害に対応し、社会資本の強靱性を高めるに当たり、投入できる人員や予算に限りのあることを前提に、技術者としての立場で多面的な観点から3つの課題を抽出し、それぞれの観点を明記したうえで、課題の内容を示せ。(※)  
(※) 解答の際には必ず観点を述べてから課題を示せ。
- (2) 前問(1)で抽出した課題のうち、最も重要と考える課題を1つ挙げ、その課題に対する複数の解決策を示せ。
- (3) 前問(2)で示したすべての解決策を実行しても新たに生じうるリスクとそれへの対策について、専門技術を踏まえた考えを示せ。
- (4) 前問(1)～(3)を業務として遂行するに当たり、技術者としての倫理、社会の持続性の観点から必要となる要件・留意点を述べよ。